

先月、札幌ドームで開催された札幌モビリティショーの「北海道自動車産業ゾーン」に工業試験場も出展しました。その会場内、「プログラミング体験」というイベントがあり、子供たちが、パソコンに向かってプログラミングを実際に学んでいたのですが、未来の技術者がこの中から生まれるかと思えるような静かな熱気が感じられ、素晴らしいなあと思ったのでした。次世代を担う人々への様々な形でのアピールが必要だなあと感じる瞬間でした。

☆☆☆☆ 目次 ☆☆☆☆

- 【1】移動工業試験場（旭川）を開催します【参加無料】
- 【2】ものづくり関連の各種研修会のお知らせ（3件）【参加無料】
- 【3】経済産業北海道経済産業局からのお知らせ
『スマートモビリティシンポジウム in 函館』

【1】移動工業試験場（旭川）を開催します【参加無料】

道総研工業試験場では、道内中小企業の技術力の向上と地域産業の振興発展を図るため、3月11日（月）に旭川市工業技術センターにおいて、移動工業試験場を開催します。機械金属製造業様をはじめ、様々な業種の皆さまの参考となる内容となっています。どうぞお越しください。

◆日時：令和6年3月11日（月） 13:30～16:30

◆場所：旭川市工業技術センター 視聴覚室
（住所：旭川市工業団地3条2丁目1番18号）

◆申込締切：令和6年3月7日（木）

◆講演内容

1. 安全作業のためのヒューマンエラー防止策

ものづくり支援センター 開発推進部 ものづくりデザイングループ
主査 神生 直敏

思わぬ作業事故・労災に繋がるヒューマンエラー（ポカミス）は、人間特性上、完全には無くせませんが、対策で減らすことは可能です。工業試験場で開催した研修等の内容から、ヒューマンエラーを体感していただくとともに、低減させるヒントを紹介します。

2. 金属材料の腐食概論ーメカニズムと事例紹介ー

工業試験場 材料技術部 素形材技術グループ
主査 櫻庭 洋平
金属材料の腐食は大変身近な現象ですが、時として重大な事故の原因にもなります。ここでは代表的な腐食のメカニズムを解説し、身近な事例や重大事故に至った事例を紹介します。また、これまで工業試験場で取り組んだ防食技術の研究事例も紹介します。

3. シミュレーション技術を設計に活かす

工業試験場産業システム部 機械システムグループ 研究職員 伊藤 壮生
有限要素法や機構解析などシミュレーション技術を活用することで設計を効率的に行うことが可能です。工業試験場で実施した事例をもとに、シミュレーション技術の概要や活用方法を紹介します。

※このほか、（一社）北海道発明協会及び（公財）北海道中小企業総合支援センターから事業のご紹介があります。

◆詳しい内容はこちらをご参照ください。

<https://www.hro.or.jp/upload/49459/idoukousi24311.pdf>

◆お問い合わせ・お申込窓口

旭川市工業技術センター（村上、大上戸、飯森）

Email: kougyoucenter@city.asahikawa.lg.jp

電話: 0166-36-3111 FAX: 0166-36-4461

【2】ものづくり関連の各種研修会のお知らせ（3件）【参加無料】

道総研産業技術環境研究本部 ものづくり支援センターでは、道内のものづくり企業等を対象に、各種研修会を予定しております。現在、下記研修会の参加を募集しております。皆様のお申し込みをお待ちしております！

[1] 生産性向上ロボット導入・活用セミナー（申込締切 2月19日）

◆日時：令和6年2月26日（月）14:00～17:00

◆方法：ハイブリッド（現地会場：工業試験場）

◆内容：ロボットのアクティブビジュアルサーボ技術による高精度・高速制御、ロボット把持における触覚の重要性、そしてマルチモーダルAI技術の活用など、最新のロボットに関する研究内容や活用事例を紹介する研修会を開催します。

◆講師：東京理科大学 准教授 荒井 翔悟 氏
（株）FingerVision CRO(chief Revenue Officer) 角谷 雄一 氏

(株)エクサウィザーズ AIコンサルタント 伊東 和哉 氏
◆申込みフォーム <https://forms.gle/jELVBpTEV1itsdoB6>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
<https://www.hro.or.jp/upload/49450/23seisanrobo0226.pdf>

[2]電磁波応用技術セミナー（申込締切 2月21日）
◆日時：令和6年2月28日（水）13:30～16:30
◆方法：集合（会場：工業試験場）
◆内容：DX推進に必要なIoTデバイスの開発や利用において基盤となる電磁環境技術から、ノイズトラブルに対処するために必要な知識と技術を身につけるため、実践的な解決策や対策事例を学ぶセミナーを開催します。
◆講師：(株)電研精機研究所ノイズトラブル相談室 室長 大阿久 学 氏
◆申込みフォーム <https://forms.gle/Sqy5uvLpuAxZiTU46>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
<https://www.hro.or.jp/upload/49449/23denjiha0228.pdf>

[3]データ解析・活用研修（申込締切2月9日）
◆日時：令和6年2月22日（木）13:30～16:30
◆方法：オンライン
◆内容：ビッグデータやAIの進展に伴い、データ解析は新たな製品やサービスの創造、業務の効率化をする上で重要になっています。本研修では、データ分析の目的や問題の発見方法を理解し、適用する分析手法を考える演習を実施します。
◆講師：文教大学情報学部 教授 阿部 秀尚 氏
◆申込みフォーム <https://forms.gle/mCTeEmj4UaLTcZ5w5>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
<https://www.hro.or.jp/upload/43900/24detakaiseki222.pdf>

【お問い合わせ先】
道総研 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター（井筒）
電話：(011)747-2324 / FAX: (011)726-4057
Email: itou-saya@hro.or.jp

【3】経済産業省北海道経済産業局からのお知らせ
『スマートモビリティシンポジウム in 函館』

経済産業省北海道経済産業局は、新しいモビリティサービスの普及啓発のため、今後の取組を検討している地域である函館市にて「スマートモビリティシンポジウム in 函館」を開催します。
本シンポジウムでは、経済産業省がこれまで行った実証における先進事例や、地元事業者による取組のほか、地域の交通課題の解決に役立つモビリティサービスの創出についてパネルディスカッションを行います。

◆日時：2024年2月9日（金）13:30～15:00
◆場所：函館市勤労者総合福祉センター サン・リフレ函館 2階 大会議室
（函館市大森町2番14号）
◆定員：100名
◆参加料：無料
◆主催：経済産業省北海道経済産業局
◆後援：函館市
※後日、経済産業省youtubeチャンネルにてアーカイブ配信を予定しています。

▼詳しい内容はこちらをご覧ください。
<https://www.hkd.meti.go.jp/hokcm/20240109/index.htm>

▼お申し込み
<https://x.gd/k8Sfo>

【問い合わせ先】
運営事務局（(株)アカパニーテクノロジーズ内）担当：高野
TEL：080-2169-4010
E-mail: event_info@e-webinar.net

=====
■□■ このメールマガジンについて ■□■
令和4年12月号から、メルマガの配信方法が変更となりました。
登録内容の変更や、アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記URL内の「メールマガジンの変更」をクリックし、手続きを行ってください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございます。ご了承ください。

▼購読申込・変更・配信停止はこちら
<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

購読申込は「新規登録」、変更・配信停止の場合は「メールマガジンの変更」を、

クリックし、手続きを行ってください。
ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的
として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

◎皆さまからのご意見、ご質問、ご感想などをお待ちしております！

[編集・発行]

(地独) 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部
ものづくり支援センター 技術支援部工業技術支援G

E-mail : iri-johoteikyo@ml.hro.or.jp

ホームページ :

<https://www.hro.or.jp/industrial/research/iri/index.html>

=====